

《学業成績表の見方》

各授業科目はそれぞれ大学設置基準に基づいて、単位(学修の量を数字で表したもの)が定められています。この単位を定められた期間で修得することによって、卒業する制度を単位制度といいます。

学業成績表には、履修登録した科目の単位数・成績評価がすべて記載されています。

		※2	※3	※4	
科 目 名		単位	評価	*	年度
※1	〔宗教教育科目:必修〕 仏教と人間	4	S		7
	〔教養教育科目:人文分野〕 日本文学を学ぶ(1)	*2	B		7
	※6 〔専門教育科目:選択必修1〕(8単位) 会社法	#4			7

※1 []内は科目の分野を示します。

※2 科目毎の授業形態により定められている数。1単位あたり15時間～45時間の学修が必要とされます。

※3 評価の基準については、下記の「成績評価・単位認定」で確認してください。

※4 授業科目を履修登録した年度

※5 フレックスAまたはフレックスB時間帯で修得した単位数(該当学科のみ表示)

※6 選択必修科目の各科目群から指定された必要単位数。

※7 履修登録しているが評価が空欄の場合は単位を修得していません。

以下のケース等が考えられます。

①授業出席日数が不足しているため、評価できない。

②試験を受験していない。

③課題等を提出していない。

※8 オンライン科目の修得単位数。

《成績評価・単位認定》

評価の基準は以下のとおりです。

合格/不合格	合 格				不 合 格		認 定
素 点	100点～90点	89点～80点	79点～70点	69点～60点	59点～0点	評価なし	認 定
評 価	S	A	B	C	F	空欄	T
グレードポイント	4.0	3.0	2.0	1.0	0	0	

※グレードポイントはGPA値算出時に使用します。(算出方法については履修要項参照)

《単位修得状況欄の見方》

	※1	※2	※3	
科目分野	単位数	卒業必要 単位数	修得 単位数	不足 単位数
宗教教育	4	4		
教養〈人文〉	↑	4		↑
教養〈社会〉		4		
教養〈自然〉	16			8
教養〈ライフデザイン〉	↓			↓
専門(選択)	28	12	16	
卒業論文	8		8	
広域選択	18	4	14	
合 計	124	32	92	
随意科目				
課程講座		2		
* フレックスBでの修得 専門4単位 教養2単位				
# オンライン科目の単位修得 2単位				
GPA. 2.00				

※1 卒業するまでに修得しなければならない単位数

※2 入学してから今年度までに修得した単位数

※3 これから卒業するまでに修得しなければならない単位数

※4 修得が必要な科目分野の名称。修得の必要がない分野は空欄で表示

※5 授業科目は定められた各年次の年間履修制限単位数の範囲内で登録することができます。
卒業年次生の不足単位が年間履修制限単位数より多く残っている場合、その年度での卒業は不可能になります。

※6 フレックスAまたはフレックスB時間帯での修得単位数を示します。(該当学科のみ表示)

※7 オンライン科目の修得単位数を示します。

※8 GPA算出値。算出方法は履修要項を参照して下さい。

《年間履修制限単位数》

1年間で履修登録できる単位数には上限が定められています。この上限を超えて授業の履修登録をすることはできません。

学部・学科・専攻	入学年度等	学 年			
		1年	2年	3年	4年
仏教学部	平成30年度以降	49	49	49	49
	平成29年度以前	54	54	58	58
文学部 国文学科・英米文学科・歴史学科		48	48	48	48
文学部 地理学科		49	49	49	48
文学部 社会学科社会学専攻	令和3年度以降	45	45	45	45
	平成30年から令和2年度	49	49	49	49
文学部 社会学科社会福祉学専攻		49	49	49	49
文学部 心理学科		49	49	49	49
経済学部		49	49	49	49
法学部 法律学科	令和3年度以降	48	48	48	48
	平成30年から令和2年度	49	49	49	49
法学部 政治学科		49	49	49	49
経営学部		2～44	2～44	2～48	2～48
医療健康科学部		56	56	56	56
グローバル・メディア・スタディーズ学部		49	49	49	49

- (注) ① 仏教・文学部は4年次の年間履修制限単位数に「卒業論文」の単位数を含まません。
 ② 再履修を含めて、すべての科目を上記年間履修制限単位数の範囲内で履修登録します。
 ただし、教職課程・資格講座科目、随意科目は制限外で履修登録できます。
 ③ GPA値の高い学生に対し、年間履修制限単位数に一定の単位を追加します。本年度の成績評価が、学生各自の次年度の年間履修制限単位数に影響します。
 ・ 前年度の単年GPAが3.0以上～3.5未満の場合、上限に4単位加算
 ・ 前年度の単年GPAが3.5以上の場合、上限に8単位加算